

般的な損失の約2倍ある粗悪品も存在します。こういった分配器を使用すると、放送波の反射や損失によって、正しく受信できない場合があります。ただし、外観からはわからないので販売店で相談するのが良いでしょう。傾向としては、例えば大手量販店で扱っているような国内メーカーであれば、比較的製品品質は保たれていると思います。

▶ 分配器の空き端子にダミー抵抗器

前節のとおり、分配器の端子は、未使用の端子がないように配慮して使うのがベストですが、どうしても分配器の端子があまってしまう場合は、空き端子にダミー抵抗器を取り付けます(図2-2)。ダミー抵抗器がないと、分配器の空き端子で放送波が反射し、例えば、一部のチャンネルが見れなくなったり、ブースタが発振してしまったり、また、外来ノイズの影響を受けやすくなったりします。ダミー抵抗器は自作することもできます。作り方は第3章で紹介します。

なお、市販のダミー抵抗器の中には、15VのDC電圧をショートさせてしまう製品があるので、後述の電流通過型分配器などを使用する場合は注意が必要です。

▶ 分配器内蔵機器の接続例

第1章の『アンテナからの接続方法』でも触れましたが、多くのレコーダなどの機器にはテレビ用のアンテナ出力端子(以下、テレビ出力端子)があります(図2-3)。この場合、レコーダ内に分配器があり、テレビ出力端子はレコーダ内の分配器の出力に接続されています。しかも、機種によって

表2-1 分配器の分配数と損失の例

分配数	UHF 損失 [dB]	BS (CS) 損失 [dB]
2	4	5
3	6	9
4	8	11
5	9	13
6	10	14

表2-2 テレビの周波数区分

周波数区分	チャンネル	周波数 [MHz]
FM	-	76 ~ 90
VHF	1 ~ 12	90 ~ 222
UHF	13 ~ 62	470 ~ 770
BS (IF)	BS1 ~ BS15	1049.48 ~ 1318
110度CS (IF)	ND2 ~ ND24	1613 ~ 2053

2012年以降、テレビ用のUHF周波数は470 ~ 710 MHzに縮小される。

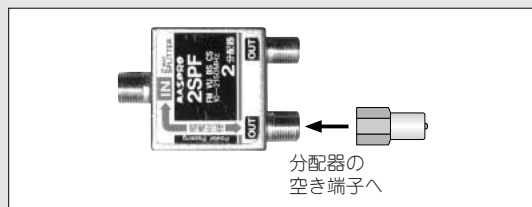


図2-2 ダミー抵抗器

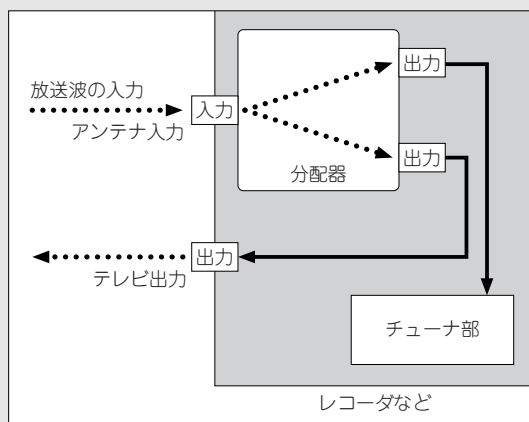


図2-3 分配器を内蔵したレコーダ